

サポートブックとは

お子さん(ご本人)が初めて接する人(先生や支援員さん)に、特性や接し方を知ってもらうための情報を書いておくものです。



食事や排泄などの日常動作、人との関わり方、得意なこと、苦手なこと等、必要な情報を書きおきます。

お子さんの記録になります♪

お子さんの日ごろの様子を振り返るきっかけになります。

環境が変わるたび、同じ説明をしなくても済みます！

入園時、入学時、進級時などに作成・更新し、先生や支援者さんにお子さん(ご本人)のことを知ってもらうツールとしてご活用ください。

お子さんの成長に応じて、必要なものを選んでご活用ください

サポートブック part1	小学校就学前のお子さんにおすすめ。 食事、排泄、着替え、睡眠、友達との関わりなどを中心に、詳しく記入できます。
サポートブック part2	小学生以上のお子さんにおすすめ。 生活面に加え、学習面について記入できます。
別紙1－支援機関	今まで、そして現在の支援機関(つながり)について記入できます。
別紙2－生活リズム	1日の生活リズム(平日・土日)を詳しく記入できます。 生活リズムが崩れがちなお子さんや医療的ケア児におすすめです。
別紙3－医ケア・重心児向け 医療情報	医療機関や、医療的ケア、内服等について詳しく記入できます。 医療的ケア児、重症心身障害児など、医療との繋がりがあるお子さんにおすすめです。

※ すべての欄を埋める必要はありません。まずは、書けるところから始めてみましょう。

※ クリアポケットファイルでの保管がオススメ。

時系列でお子さんの成長が分かりやすく支援者に伝わります。

☆書き方のポイント☆

- ① 対応の仕方を具体的に。
具体的な例をあげて説明すると、わかりやすいです。
(例) ×「～について、配慮をお願いします」
○「△△(場所・状況)のときに、こどもが◇◇(行動)したら、
□□(具体的な対応)のようにしています」
- ② できること、得意なこと、好きなことをたくさん盛り込んで。
支援者が、お子さんと関わってみたいな！と思えるように・・・
どうしても、おこさんの出来ない点に目が向きがちですが、良い点もたくさん書いておきましょう。支援のヒントになることがあるかも！？
- ③ 支援者との関係づくりのために。
サポートブックは、支援者にやり方を強制するものではありません。支援者のご家族が情報を整理することで、お子さんの更なる成長や支援の広がりにつながることでしょう。
(例) ×「△△してください」
○「家では△△しています」

